



資料館だより

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告 1 / 講演会実施報告
- 3… 展示活動報告 2 / 移管・寄贈資料(新規)
- 4… 開催案内

金沢大学
創設資料
第1巻・第2巻
〔全4巻及び別冊1冊の一部〕
(1951(昭和26)年ごろ編纂)

TOPICS

資料館開設30周年を記念しこれまでの歩みを振り返る特別展を開催



展覧会会場でのテレビ取材風景

本年度、当館は開設30周年を迎えることができました。これを記念し、「金沢大学資料館30年の歩み“1989-2019”」と題した特別展を令和元年9月4日(水)から10月28日(月)まで開催しました。

城内キャンパスから角間キャンパスに移転する際に、これまで各部局が保有してきた前身校から引き継いだものを含む様々な資料が散逸することを防ぐため、平成元年度に資料館は設置されました。

本展覧会では、平成という時代と共に歩んできた資料館の歴史をさかのぼり、これまでどのような展覧会を開催し、どのような資料を展示・紹介してきたかを振り返るものになりました。

資料館設置の経緯と設置後の歩みを年表で振り返るコーナーをはじめ、資料の種類ごとにコーナーを設けて解説し、一回りすると主な収蔵品と近年の展覧会のテーマが分かるような展示になっていました。

展示品には、8月28日(水)から8月31日(土)まで東京新宿駅西口地下広場で開催された東京都主催の展覧会に貸し出されていた橋梁模型(隅田川に架かる清洲橋の模型)も凱旋し、久しぶりに展示されました。

展示活動報告1

アウト
リーチ展

出張写真展「あのころの金沢大学」開催

会期 令和元年10月18日～11月5日 会場 金沢城公園河北門

金沢城公園河北門を会場としてから今年で4回目となる出張写真展「あのころの金沢大学」を開催しました。

本学のホームカミング日に合わせて開催しているこの写真展は、昨年からの展示テーマを変えて金沢大学が城内にキャンパスがあったころのキャンパスの様子を紹介していますが、見学するOBからの意見等を踏まえ、展示する写真の年代や対象を見直し、写真を大幅に入れ替えて展示しました。

19日間の開催期間中に14,000人を超える入場者数があり、同窓生を含む多くの市民と観光客の方々にご覧いただきました。



美術展

「i-Acanthus Ars 2019」開催

会期 令和元年11月1日～11月8日 会場 資料館展示室



恒例となった人間社会学域学校教育学類美術教育専修の学生、教員及び卒業生による作品展覧会が資料館展示室で行われました。

会場には、絵画、彫刻、デザイン、写真、工芸などの作品が展示され、多くの方が鑑賞に訪れました。

講演会実施報告

「金沢大学資料館30周年記念特別講演会」を開催

資料館の開設30周年を記念し開催した特別展に合わせて、中央図書館AV室を会場に、30周年記念特別講演会を10月9日(水)に開催しました。

博物館機能と文書館機能の二つの機能を有する資料館にふさわしい講師として、三重県総合博物館長の大野照文先生と名古屋大学大学文書資料室の堀田慎一郎先生をお迎えし、それぞれ「大学博物館と地域博物館での体験から考える博物館の役割」、「Nagoya University Archivesの23年－機関アーカイブズの視点から－」と題した講演をしていただきました。



大野照文先生



堀田慎一郎先生

展示活動報告2

学 生
企 画 展

「いろは—多彩な技術から見る色の世界—」

会期 令和元年11月18日～令和2年1月28日 会場 資料館展示室



パネル作成中

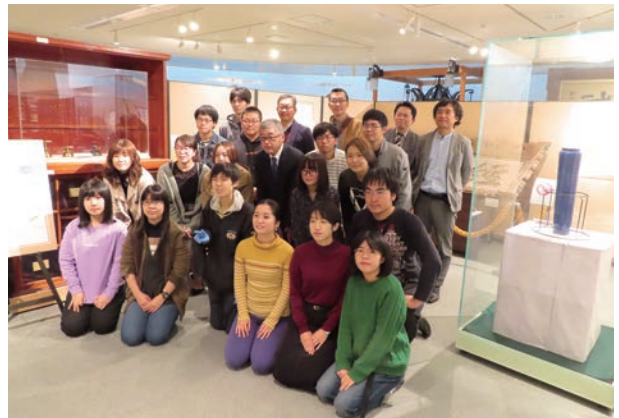
恒例の「博物館実習」を履修する学生による企画展が11月から開催されました。これは、館園実習として学生が企画から資料調査、パネル・キャプション・ポスター・チラシの作成及び展示まで、すべての学芸員業務をアクティブラーニングとして行う大変ユニークな取り組みです。

今回は、色をテーマに、博物資料が持つ様々な色の中から、赤、青、金の三色を取り上げ、これらの色を有する資料を選別し展示しました。展示スペースをそれぞれの色のコーナーに分け、赤、青、金の順に資料

を紹介し、そこに使われている色を構成する素材・仕組みについて解説しました。パネルにも工夫を凝らし、解説にも著作権等を考慮した写真や図を用いるなど、正に博物館展示の実践です。

展覧会では、色をテーマに写真を募集し、来場者によるコンテストを実施するなど、単に見るだけでなく、参加型の展覧会になるように企画しました。

この展覧会の期間中、学生たちが自ら展示資料の解説を行うミュージアムツアーも5日間開催し、さらに野菜由来の絵の具を作り、しおりを作成するワークショップも2回実施する等、参加者からは大変好評でした。



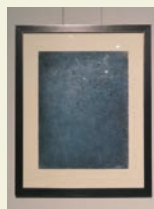
展覧会のオープンを記念して

令和元年9月～12月 移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

寄贈

- ・「ONE DAY 13-02」 (水彩画, 87×125cm)
- ・「ONE DAY 08-2」 (水彩画, 73×92cm) 今井 治男氏
- ・「腐蝕した時間」 (腐食銅版画, 100×130cm)



開催案内

冬季
企画展

「財(たから)のまち!? 宝町—宝町遺跡第19次発掘調査速報展—」

会期 令和2年2月6日～3月6日 会場 資料館展示室

資料館展示室では、2月6日(木)から3月6日(金)まで本学埋蔵文化財調査センターとの共催で冬季企画展「財(たから)のまち!? 宝町」を開催します。

この展覧会は、附属病院第2立体駐車場建設に伴い、今年度、5月から7月にかけて埋蔵文化財調査センターが実施した宝町遺跡第19次発掘調査の成果を速報的に展示するものです。

今回の調査では、近世金沢城下町の遺構・遺物と、近代病院の遺構・遺物が見つかりました。近世については、主に土坑(どこう)の類が検出され、その内外から陶磁器や木製品などが多く出土しました。一方、近代については、金沢大学病院の前身の眼科病棟跡が検出され、病院で使われていた食器などが出土しました。

また、過去に埋蔵文化財調査センターが発掘調査した、角間遺跡(縄文時代・平安時代主体：縄文時代の遺物散布地及び平安時代の山間寺院跡)・鶴間遺跡(近代主体：明治五大監獄のひとつ、金沢監獄の跡)の出土遺物も併せて展示します。

ぜひ、御来場いただき、金沢大学の各キャンパスに眠っていた「財」を御覧ください。



出土した土人形(カヌシ)

アウト
リーチ展

「金沢大学資料館の30年 in 四高記念館」

会期 令和2年1月17日～2月16日 会場 石川四高記念文化交流館 多目的利用室1

今回で4回目となる石川四高記念文化交流館で開催する出張展覧会(アウトリーチ展)は、今年度に30周年を迎えた資料館が、秋に開催した特別展「金沢大学資料館30年の歩み“1989-2019”」で展示紹介した資料の中から30点ほどを選んで展示します。

資料館の収蔵資料は、金沢大学とこれに繋がる四高や旧金沢医科大学をはじめとする各前身校の歴史の証人です。これまでどのような展示を資料館が行ってきたかを金沢市民、石川県民そして観光等で来られた方々にも紹介し、金沢大学と資料館の歴史を振り返ります。

石川四高記念文化交流館は、香林坊交差点そばの広坂通りにあります。香林坊周辺にお出かけの際は、ぜひ、お立ち寄りください。



編集後記

企画展、特別展、学生展、そして街中でのアウトリーチ展…今年度も数多くの展示を実施しました。企画が成立するか否か検討を要する場面も多いですが、学内外からの協力と支えがあって、展覧会開催の運びとなります。「金沢大学」の資料館なら…と共催事業や資料寄贈の申し出があり、信頼を寄せてくださる方々の期待に応える業務ができるように、日々努力を続けたいと思っています。(藤原真理)

金沢大学資料館だより

第61号 令和2年1月発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>